

愛知県吹奏楽連盟 理事長あいさつ

2018年度に入り、愛知県教育委員会の「教員の多忙化解消プラン」の中での取組の柱（3）部活動指導に関わる負担軽減を受けて中学校・高等学校の部活動の時間削減の動きが急速に進んでいます。また、名古屋市から端を発した小学校の部活動廃止の動きも確実に愛知県内の小学校の部活動にも影響を与えています。

この現状から今までの学校現場での吹奏楽指導のあり方を再検討して「短時間で効果的な吹奏楽指導」について実践していくことが求められています。

私たち愛知県吹奏楽連盟では、今までの取組を見直し、これからの吹奏楽指導のあり方を推進していく責務をひしひしと感じています。この1年間は県内各地区の現状を把握して吹奏楽指導の研修と活動の見直し等に努力いたす所存です。

まずは、全日本吹奏楽連盟の掲げる『響け、復興のハーモニー』のスローガンのもとに今年度も引き続き東日本の吹奏楽活動の復興支援に尽力してまいります。さらに、2016年4月に甚大な被害を被られた熊本県の皆様にもできる限りの支援をさせて頂く所存でござ

います。

さて、まず第1に愛知県吹奏楽連盟では『吹奏楽による音楽普及向上を図り、文化の発展に寄与すること』を目的として、1960年（昭和35年）に39団体にてスタートいたしました。創立以来58年が過ぎ、現在（4月21日総会時）では小学校20団体、中学校298団体、高等学校178団体、大学(12)・職場(5)・一般(45)の計62団体、総合計558団体という全国有数の加盟団体数があります。

第2に組織運営としましては、非常に大きな組織ですから、全体を3つの部門連盟に分けています。小・中学校連盟と高校連盟は県内を7つの支部（東三河、西三河北、西三河南、名古屋、知多、東尾張、西尾張）に分け、大学・職場・一般連盟は県全体を一つにまとめて、それぞれ三部門が各部門理事長のもとに活気に満ちた運営をしています。

第3に主要な活動についてです。私どもは全日本吹奏楽連盟の構成員であり、中部日本吹奏楽連盟の構成員でもありますから、県内の参加団体が両連盟の主催するコンクール・コンテストに出場できるように業務を遂行しています。その両連盟の全国大会・本大会への予選としての吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテスト・小学

校バンドフェスティバル・マーチング大会・個人重奏コンテストの5種類の大会を県連盟の主催事業として実施しています。

第4として大会以外の事業についてです。地域と連携した事業として6月開催の「有松絞り祭り吹奏楽イベント」、名古屋市・マーチング協会・バトン協会との連携事業として11月開催の「ナゴヤマーチング&バトンウェーブ」、久屋大通発展会等との連携事業として11月開催の名古屋市久屋大通公園での「栄まちじゅう音楽広場」や名古屋市栄のオアシス21での「大学職場一般吹奏楽フェスティバル」などを実施しています。この他にも愛知県内の各地で開催されています吹奏楽コンサートこれらのいずれもが吹奏楽ならではの聴いて楽しく見て楽しい企画として高い評価を頂いています。今後も吹奏楽のもつ庶民性と力強さを生かし行政や商工会などとのタイアップを大切にして地域イベントにも積極的に関わっていきたいと思っております。

かつて先輩諸氏は国や愛知県や名古屋市が主催する国家的事業である「インターハイ」や「わかしゃち国体」「ゆうあいピック」「ねんりんピック」などでの式典演奏に総力を挙げて取り組んでこられました。そして、そのいずれにおいても輝かしい威光を示してこら

れました。現在は、2019年春に開催予定の「第70回全国植樹祭」の開会式等の式典で演奏させて頂くべく、愛知県当局と協力して準備を進めています。

2010年（平成22年）には愛知県吹奏楽連盟創立50周年事業を行い、記念式典ともにナゴヤドームにて10,000人規模の大演奏会を開催しました。また、2015年（平成27年）には同じくナゴヤドームにて演奏者5,000人による「動くコンサート」を実施しました。どちらのコンサートも多数の県民の皆さまからも参加者からも熱い称賛の言葉をいただきました。2年後の2020年の60周年記念演奏会は現在、全国の吹奏楽の聖地であります国際会議場白鳥センチュリーホールにて開催すべく、準備を進めております。

5番目は吹奏楽指導者の人材育成活動についてです。このために11月に「吹奏楽セミナー」を1泊2日で開催しています。これは全国レベルの実績を持つ指導者の貴重な知恵と経験が、県内吹奏楽指導者に共通の財産となって広がることを願った貴重な勉強会です。さらに、新人の指導者に対してはコンクール準備として、第一線を退かれたベテラン指導者が現場に出向いて実際に指導と助言をする「吹奏楽指導者支援事業」を行っており、今年度も多くの加盟校の

若い先生方からの応募を頂き、大変好評です。この吹奏楽指導者支援事業を「これからの吹奏楽指導のあり方」の一環としてさらに充実させていきたいと考えております。

また、愛知県が誇る中学校指導者3名の吹奏楽指導の実践を録画して愛知県吹奏楽連盟指導用DVD「これからの中学校吹奏楽指導～短時間での吹奏楽指導を目指して～」を作成して4月に完成いたしました。5月に中学校全加盟団体に配布いたします。

6番目に今後のことです。発足58年目を迎えた愛知県吹奏楽連盟は、引き続き小・中学校連盟、高等学校連盟、大学・職場・一般連盟の3つの部門連盟を縦軸とし、マーチング委員会、イベント委員会、セミナー委員会、行事担当委員会、全国大会実行運営局、事務局と会計局を横軸として、縦軸と横軸が有機的に関わりあいながら活力ある活動を行ってきました。さらにこの縦軸と横軸の関わりに指導者の年齢を超えた奥行きを加えて立体的な充実した吹奏楽活動を展開していきます。そしてこれらの愛知県吹奏楽連盟の取り組みを多くの方々に理解していただくためにホームページでの公開や新聞やメディアでの情宣にも力を入れていきたいと思っております。

全日本吹奏楽コンクール（中学校の部・高等学校の部）が今現在

2020年までは名古屋国際会議場（白鳥センチュリーホール）で開催されることがすでに決まっていますので、全力で運営に携わってまいります。

最後になりますが、当連盟が57年の間にここまで成長できたことは、まず各加盟団体員と指導者の熱意によるものであり、そのことに深く感謝いたします。同時にこれほどの成長に達するまでの役員先輩諸氏のご努力に心より敬意を表したいと思えます。

さらに、関連して支援して頂いた関係者全ての方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今の多様な時代の動きをいち早く敏感に感じ取り、これからの愛知県での吹奏楽活動はどのように活動をしていくべきかを常に考えて各種の活動を推進していきます。

今後とも愛知県吹奏楽連盟の更なる充実発展のため、皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げまして、2018年度のあいさつといたします。

愛知県吹奏楽連盟第11代理事長 齋藤 和憲